

看 護

1 科目編成

改 訂	現 行	
科 目 名	科 目 名	標準単位数
基礎看護	基礎看護	7～9
看護基礎医学	看護基礎医学	7～9
成人・老人看護	成人看護	4～12
母子看護	母子看護	2～4
看護臨床実習	看護臨床実習	12～19
看護情報処理	看護情報処理	2～4

科目構成については、職業資格取得との関連を考慮し、現行と同じとするが、「成人看護」については、老人看護や福祉及び在宅看護に関する内容の充実を図るため、名称を「成人・老人看護」と変更する。

2 改訂の基本方針

高齢化の進展と疾病構造の変化に伴い、患者のクオリティー・オブ・ライフ（生活と人生の質）を重視した在宅医療及び看護に対する社会的要請が増大している。これらの社会的変化に主体的に対応するため、教科「看護」の改善が図られている。今回の改訂に当たっては、看護に関する基礎的な知識と技術を身に付けることや、老人看護と福祉に関する内容の充実を図り、人間を総合的にとらえる能力の育成を図ることをねらいとしている。

また、生徒がゆとりを持って学習できるよう、「看護基礎医学」や「成人看護」のように内容が広範である科目については、基礎事項に重点を置くようにするなど内容の精選を図る。

3 改訂の内容

目 標

看護科の目標は、次のとおり示されている。

看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持促進に寄与する能力と態度を育てる。

なお、今後の保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の改正に併せて、5年一貫教育の検討と新学習指導要領の「第3章第6節看護」が改訂される予定である。